

佐賀県での相談支援機能の強化について

地方独立行政法人佐賀県立病院好生館
理事長 十時 忠秀

(H23年7月25日 第4回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会 資料)

略歴

昭和43年 3月	九州大学医学部卒業
昭和57年 4月	佐賀医科大学麻醉科教授
平成15年10月	佐賀大学病院長
平成16年 4月	佐賀大学理事・副学長・病院長
平成20年 4月	佐賀県医療統括監
平成22年 2月	佐賀国際重粒子線がん治療財団理事長
平成22年 4月	地方独立行政法人佐賀県立病院好生館 理事長
	佐賀県医療顧問



佐大病院と県立病院の社会福祉士の配置状況

年度	佐賀大学医学部附属病院		佐賀県立病院好生館	
	社会福祉士配置数 (人)	がん相談件数 ／全相談件数	社会福祉士配置数 (人)	がん相談件数 ／全相談件数
18	2 (正1、非常勤1) 正職員化	全相談の4割程度 ／2,916件	0	
19	2 (正1、非常勤1)	全相談の4割程度 ／3,279件	1 (非常勤社福士1)	432／2,174
20	3 (正1、非常勤2)	全相談の4割程度 ／7,064件	1.5 (非常勤社福士1.5)	808／3,149
21	4 (正1、非常勤3)	全相談の4割程度 ／5,217件	3 (非常勤社福士2、 非常勤MSW1)	1,106／4,843
22	4 (係長1、非常勤3)	全相談の4割程度 ／7,064件	3 (正(係長)1、 非常勤社福士1、 非常勤MSW1) 正職員化	1,992／7,419
23	4 (係長1、非常勤3)		3 (係長1、 非常勤社福士2)	

県立病院相談支援センターへの 正職員社会福祉士の配置の効果

無形効果

- 社会福祉士が正職員雇用となったことにより、院内の主要な会議や委員会の委員となることが可能となった。
 - 院内組織体制の熟知で、相談時の的確な提案が見込め、質の向上につながる。
- 社会福祉士が正職員雇用となったことにより、相談係で『好生館だより』の事務局を運営することが可能となった。
 - 「相談者の目にとまる配布先リサーチ」を行ったうえで、配布先の抽出ができる。
 - 全国がん拠点病院への送付も開始。

県立病院相談支援センターへの 正職員社会福祉士の配置の効果（つづき）

有形効果

- 医療費支払困難の相談者に、制度適用や支払の方法を提案し、支払の工夫をしてもらうことで、未収防止につながっている。
- 症例検討会等の定期開催で、拠点病院以外の医療機関、行政、介護福祉関係事業所からのがん相談が増加した。
その結果、転退院支援での連携がスムーズに運ぶようになった。

県立病院相談支援センター発信 地域連携ネットワーク構築の取り組み

～相談支援センターを知り、利用してもらうためのPR活動の実施～

19年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の研修会への参加
20年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ ポスター、チラシを作成し、県内医療機関に配布 ■ STS(サガテレビ)に社会福祉士が出演し、「がんになったら手にとるガイド」PR ■ 相談支援センター企画運営の緩和ケア症例検討会の開催
21年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ ポスター、チラシを作成し、県内医療機関、行政、圏域公民館に配布 ■ 相談支援センター企画運営の緩和ケア症例検討会の開催 ■ 相談支援センター社会福祉士への講師依頼4件
22年度	<ul style="list-style-type: none"> ■ ポスター、チラシを作成し、県内医療機関、行政、圏域公民館に配布 ■ 相談支援センター企画により国立がん研究センター東病院 小川朝生先生の医療福祉専門職対象がん講演会開催 ■ 相談支援センター企画運営の緩和ケア症例検討会の開催(1回/月程度) ■ 相談支援センター企画運営の化学療法患者会の開催(1回/2月) ■ 相談支援センター企画運営の訪問診療・訪問看護・居宅介護支援事業所連絡会の開催(1回/半年) <ul style="list-style-type: none"> → 顔の見える関係づくりの構築 ■ 相談支援センター社会福祉士への講師・シンポジスト依頼7件

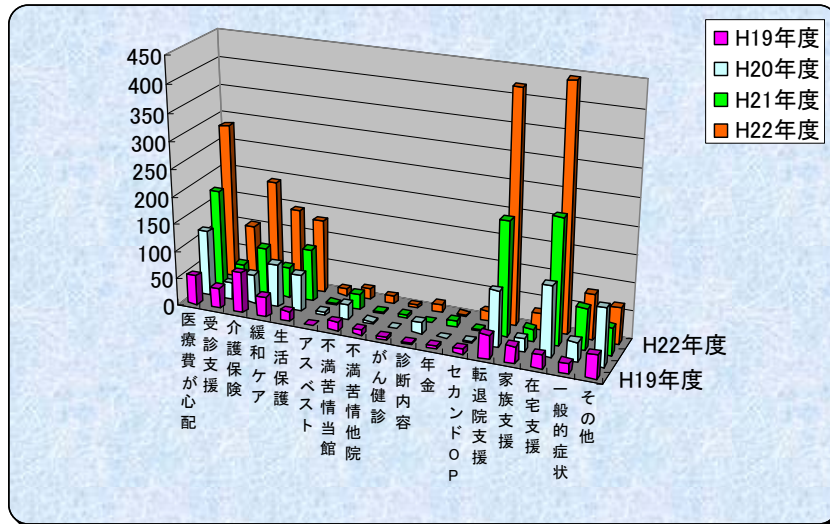
県立病院相談支援センター発信 地域連携ネットワーク構築の取り組み (つづき)

～相談支援センターを知り、利用してもらうためのPR活動の実施～

23年度 実施と計画	<ul style="list-style-type: none"> ■ ポスター、チラシを作成し、県内医療機関、行政、圏域公民館に配布 ■ 相談支援センターが事務局となり、『好生館だより』を作成。全国拠点病院へ送付先を拡大(7月の第11号から) ■ 相談支援センター企画運営の緩和ケア症例検討会の開催(1回/2月程度) ■ 相談支援センター企画運営の化学療法患者会の開催(1回/2月) ■ 相談支援センター企画運営の訪問診療・訪問看護・居宅介護支援事業所連絡会の開催(1回/半年) <ul style="list-style-type: none"> → 顔の見える関係づくりの構築 ■ 相談支援センター運営の情報提供コーナーの拡大設置(8月) ■ 相談支援センター企画により拠点病院共催の県民公開講座開催(12月3日) ■ 相談支援センター社会福祉士への講師・シンポジスト・コーディネータ依頼12件 ■ STS(サガテレビ)出演、佐賀新聞・西日本新聞掲載 ■ 日本癌治療学会示設発表エントリー「相談支援センターが地域に根づくプロセス②」
---------------	--

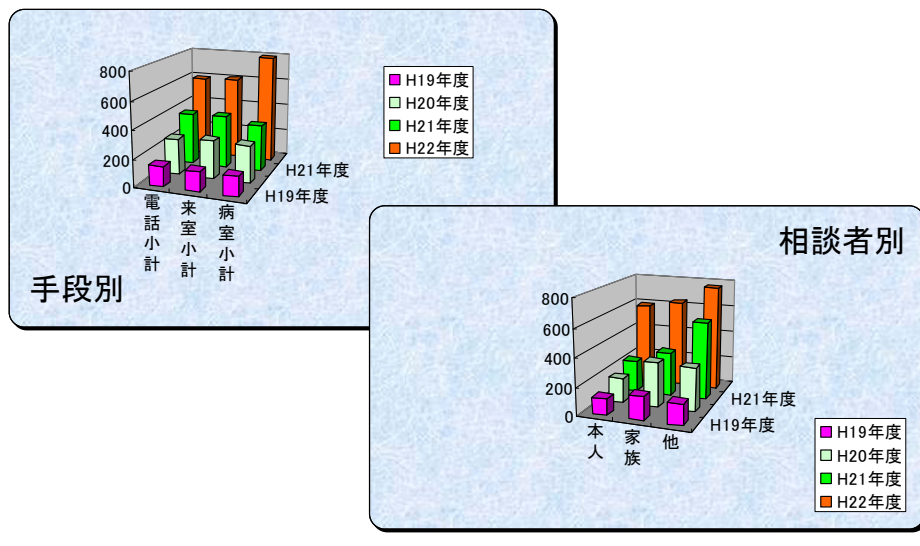
県立病院における相談の状況

[内容別がん相談]



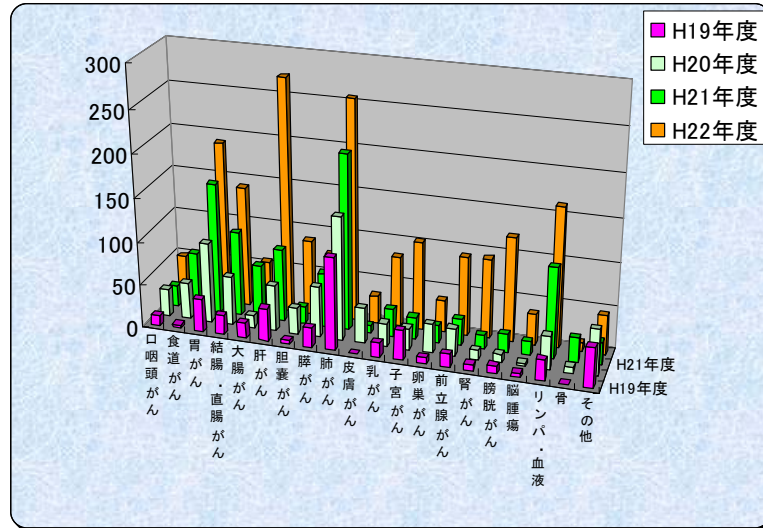
県立病院における相談の状況 (つづき)

[手段別・相談者別がん相談]

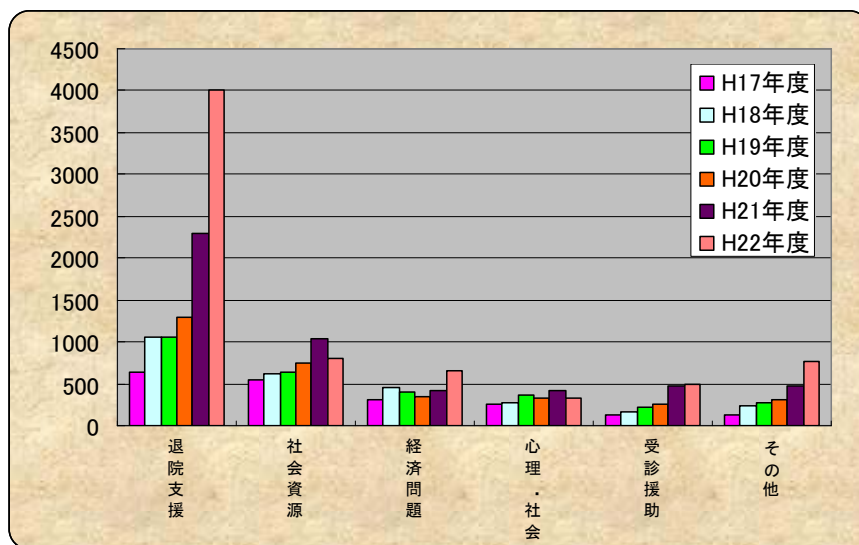


県立病院における相談の状況（つづき）

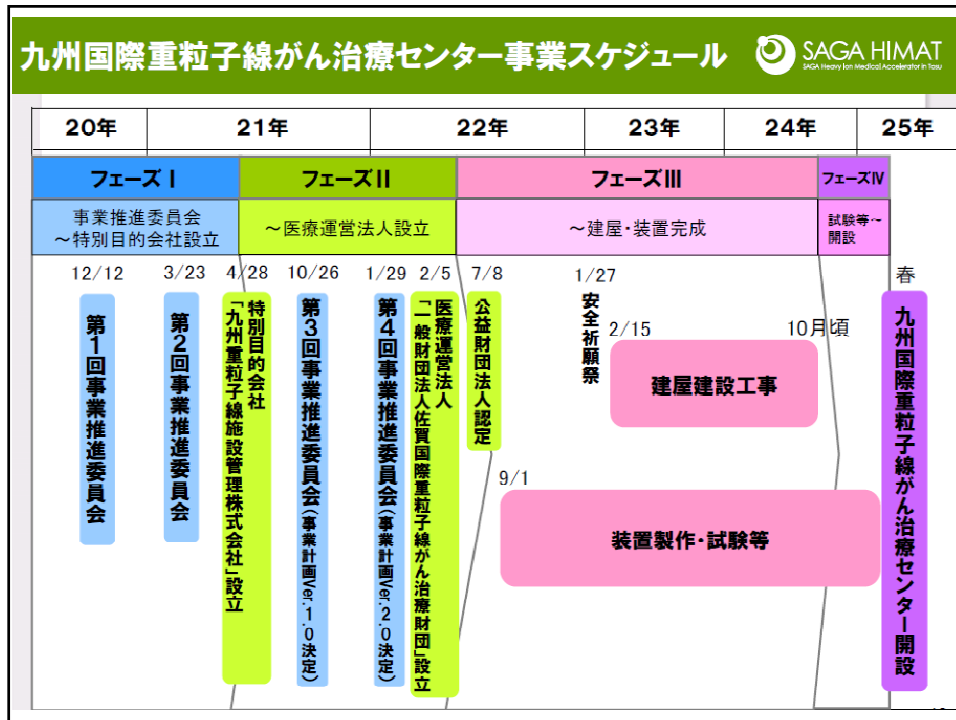
[部位別がん相談]



佐大病院における相談の状況



日本の重粒子線がん治療施設

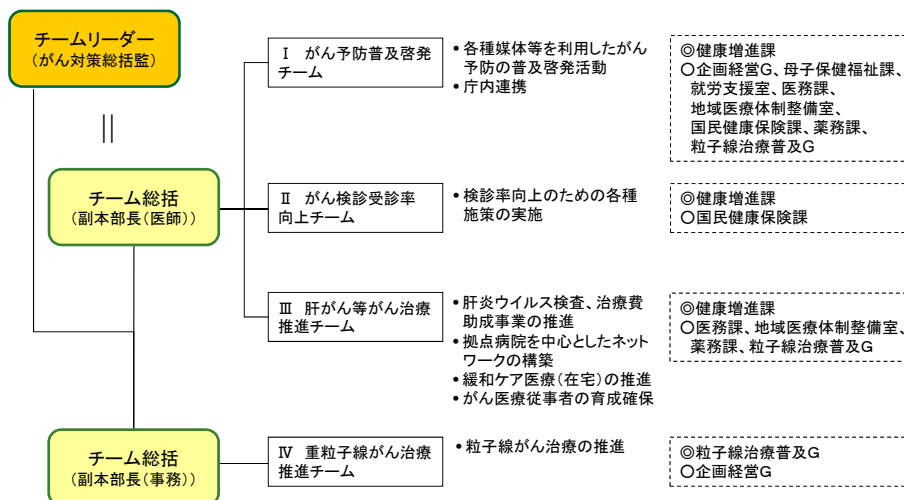


現場写真(2011年6月23日現在)

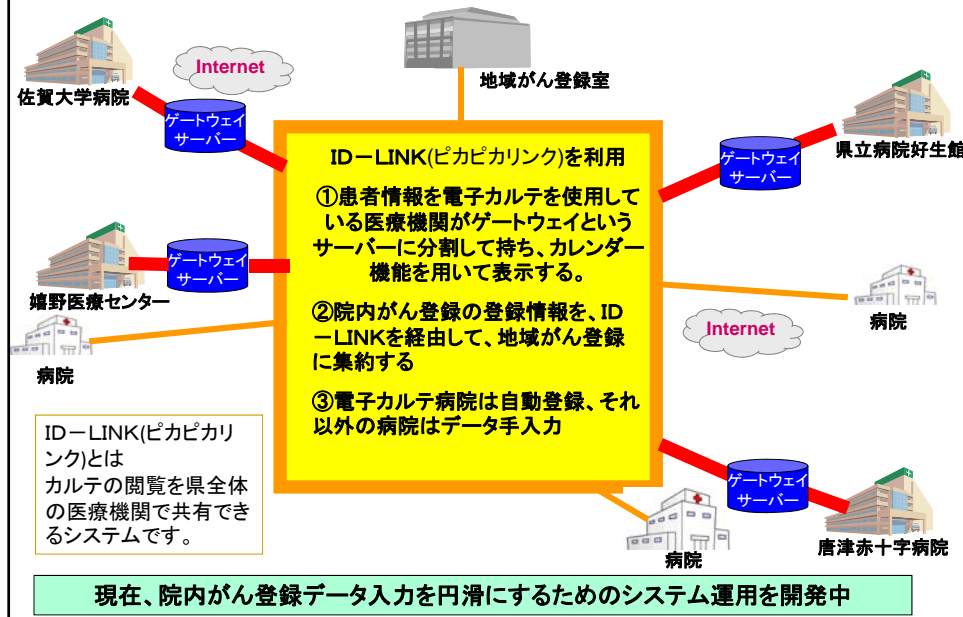


センター建設地(地上躯体工事段階)

がん対策推進プロジェクトチームの構成



佐賀県地域がん登録連携システム構想



佐賀県のがん検診受診勧奨メッセージソング

幸せへのメッセージ

忘れないで検診!「がん予防」!!

作詞・作曲 木原慶吾

- 1) 雨上がりの午後 空を見上げると
雲の切れ間から まばゆい光が降りそそぎ
遠い昔に聞いた おとぎ話みたいに
虹の彼方から 明日が見えてくる

※そんな何気ない幸せのためにも
覚えておいて欲しいことがある!
愛する人と家族のためにも!
自分自身が健やかに過ごせるためにも!

※※年に一度の「君の誕生日」
忘れないで検診!「がん予防」!!

- 2) 雨上がりの夕暮れ 暮れなずむ街に
星がまたたき 静かに灯りがともる頃
あちこちの家では 子どもたちの声が
喜びにあふれて 明日も変わらずに

※くり返し ※※くり返し



